

～早期発見・早期治療が肝硬変・肝がんを防ぎます～

肝炎ウイルス検査を受けてみませんか？

40歳以上で、今までに肝炎ウイルス検査を受けたことがない方は、一度は検査を受けましょう。

※40歳未満の方でも、感染の心当たりがある方は、一度は検査を受けましょう。

特に、次のような方は検査を受けられることをお勧めします。

- ①平成6年以前に、大量に出血するような出産や手術を経験された方
- ②平成4年以前に、輸血を受けた方
- ③長期に人工透析を受けている方
- ④臓器移植を受けた方
- ⑤ボディピアスや入れ墨をしている方

※検査は採血だけです。短時間で終わります。

保健所や委託医療機関で 無料で検査を受けることができます

【保健所で無料検査を受けるには】

○御船保健所に、電話で申し込んでください。

※無料検査を受けることができる委託医療機関は、県内に約600箇所あります。県のホームページでご確認いただくか、御船保健所にお問い合わせください（御船保健所 ☎ 282-0016）

問い合わせ先

県健康危機管理課 ☎ 333-2783

7～8月は

「愛の血液助け合い運動」の期間です

みんなで、献血の輪を広げようよ

400ml献血・成分献血にご協力ください。

夏場は長期の休みや暑さにより、献血者が減少することが心配されています。

特に、若い人たちが献血をしたことがない方は、ぜひご協力をお願いします。



日赤プラザ献血ルーム（熊本県赤十字血液センター）

☎ 384 - 2111

日本脳炎の 予防接種について



平成17年5月から、定期日本脳炎予防接種（幼児・学童対象）はワクチンの副反応により、積極的に推奨しないこととなり、4年経過しました。

本年6月2日から新ワクチンが使用可能になりましたが、供給量が必要量に満たないことや安全性の確認等における観点から、21年度も積極的推奨にはなっていません。またワクチンについては、国の指針で、対象者により新ワクチン・従来ワクチン使用の優先が決められています。

接種希望者の方は、県医師会委託の広域化予防接種事業で受けることができますので、母子健康手帳持参のうえ、役場健康福祉課へ来所をお願いします。

日本脳炎とは、どんな病気？

潜伏期7～10日、突然の高熱、頭痛、意識障害及びけいれん等を主な症状とする急性の脳炎。

死亡率 約15～30%

後遺症を残す率 約30%

※年間10数人程度発病し、西日本に多い。ブタから人へ、コガタアカイエカを介して感染する。

定期予防接種について

1期初回接種 2回

（標準的な接種年齢3歳～4歳）

1期追加接種 1回

（上記接種後、おおむね1年後）

計3回で

基礎免疫ができる

2期接種 1回

（9歳以上13歳未満）



*詳細については、係までお尋ねください。